

【三谷恵子先生追悼文】

## 海外からの追悼メッセージ

三谷先生のご逝去に際し、ザグレブ大学教授のダルコ・ジュブルニッチ氏 (Darko Žubrinić、クロアチア) より、事務局宛に以下のメッセージを頂戴いたしました (2022年3月7日付)。

=====

Condolence message

I express my deep condolences to all the members of Your Society, on the occasion of the death of Dr Keiko Mitani. I had the privilege of meeting her (and talking to her) in 2017, at a conference which took place in the cities of Biograd and Zadar, on the Croatian coast.

Wishing You all good health and prosperous future,  
I send You many greetings from Croatia's capital Zagreb,

Darko Žubrinić

=====

このメッセージでジュブルニッチ氏が言及されている学会とは、2017年5月12-13日にクロアチアのビオグラード・ナ・モル市およびザダル市にて開催された国際会議 *The Phenomenon of the Glagolitic Script* を指しています。開催地のひとつであるビオグラード・ナ・モル市は、日本の広島市・長崎市と交流が深く、2010年からは折鶴をかたどった記念碑の前で原爆犠牲者追悼式典が開催されています<sup>1</sup>。

この学会の様子を収めた写真がウェブサイト CROWN (Croatian World Network) に掲載されており、どなたでも自由にご覧になれます<sup>2</sup>。この欄では、CROWN に掲載されている写真のうち3枚を抜粋し、在りし日の三谷先生のお姿を偲びたいと思います。ウェブサイトの情報をご提供くださったジュブルニッチ氏に、この場をかりて深くお

---

<sup>1</sup> 在クロアチア日本国大使館 <https://www.hr.emb-japan.go.jp/jp/2018/nikokukan-2018-biograd-namoru.html> [最終アクセス：2022/03/10]

<sup>2</sup> CROWN <http://www.croatia.org/crown/articles/11332/1/Keiko-Mitan-Japanese-expert-in-Croatian-Glagolitic-literature-passed-away-in-2022.html> [最終アクセス：2022/03/10]

礼申し上げます。



【写真1】 ビオグラード・ナ・モル市にある折鶴の碑の前での記念写真

\*写真左より、アンドレイ・ソボロフ氏 (Andrei Sobolov、ロシア)、ドラジェンコ・サムダルジッチ氏 (Draženko Samdardžić クロアチア)、三谷先生、ヨスィプ・ブラトゥリッチ氏 (Josip Bratulić、クロアチア)、ボジョ・ドシェン氏 (Božo Došen、クロアチア)、ジョルジオ・ツイッファ氏 (Giorgio Ziffer、イタリア)。



【写真2】 クロアチアのグラゴール文字写本に関する三谷先生の講演



【写真3】ザダル大学講堂でのドラジェンコ・サムダルジッチ氏の講演

\*三谷先生（写真右）は本講演が行われたセッションにおいて、アニツァ・ヴラシッチ=アニッチ氏（Anica Vlašić-Anić、クロアチア）およびアニツァ・ナゾル氏（Anica Nazor、クロアチア）と共に進行役を務められた。